

平成22年度日本小児外科学会
第5回定例理事会議事録

日 時：平成23年2月18日（金）11：00～17：00

場 所：日本外科学会会議室

出席者：岩中 督（理事長）、田口智章（副理事長）、土岐 彰（理事・会長）、上野 滋（理事・副会長）、橋本 俊、濱田吉則、葦澤融司、前田貢作（以上理事）、伊川廣道、金子道夫、林 富（以上監事）、吉澤穰治（財務会計委員長）、越永従道（財務会計副委員長）、小室広昭（庶務委員長）、金森 豊（庶務副委員長）、鈴木淳一（庶務委員）、村上 聡、堀口裕輔（以上学会支援機構）

陪席者：副島 剛、番匠谷修行（以上NTT-PCコミュニケーションズ）

議 事：

1. 第5回定例理事会の議事録署名人は、濱田吉則理事、前田貢作理事とした。
2. 平成22年度第4回定例理事会議事録が承認された。

3. 報告事項

1) 外科関連学会協議会報告(岩中理事長)

岩中理事長より、以下の報告があり了承された。

- (1) 外科系学会理事長懇談会が行われ、日本医学会のあり方について、改善を要望していくためには、まず内科系学会との足並みを揃えることが不可欠であるという方向性につき、その旨を日本外科学会理事長より日本内科学会理事長へ協議申入れることにつき、合意が確認された。
- (2) 今後誕生する見込みである「特定看護師（仮称）」の有用性をさらに高めるために、モデル事業（特に急性期特定看護師の養成事業）の継続と、第三者的な評価認定機関の設立を訴える要望書を、厚生労働省の「チーム医療推進会議」の永井良三座長（東京大学）と、厚生労働省の医政局長へ提出する件につき、合意が確認された。
- (3) 医療安全全国共同行動から引続き2011年度以降も参画の依頼があり、加盟学会それぞれで前向きに対応する方針が確認された。

2) 理事長報告

岩中理事長より以下の報告があり、了承された。

- (1) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレターNo.140～141」を受領した。
- (2) 日本消化器外科学会からの通信文「事務所移転のお知らせ」を受領した。
- (3) 日本専門医制評価・認定機構からの寄贈本「日本専門医制評価・認定機構ニュース No.5」を受領した。
- (4) 日本医師会からの寄贈本「JMAJ Vol.53No.5～6」を受領した。
- (5) 厚生労働省医薬食品局安全対策課からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.274～276」を受領した。

- (6) 日本外科学会からの寄贈本「社会保険診療報酬に関する改正要望書」を受領した。
- (7) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY Vol.40No.12～Vol.41No.2」を受領した。
- (8) 医学書院からの寄贈本「医学研究者名簿 2010-2011」を受領した。
- (9) 日本専門医制評価・認定機構からの寄贈本「米国の専門医制度についてのセミナーのお知らせ」を受領した。
- (10) 日本製薬工業協会からの寄贈本「てきすとぶっく製薬産業 2011」を受領した。
- (11) 日本医学会からの寄贈本「2011 年日本医学会分科会総会一覧」を受領した。
- (12) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学会雑誌 Vol.37-No.2」を受領した。
- (13) 日本医学会からの DVD「第 11 回日本医学会公開フォーラム 脳卒中—最近のトピックスと新ガイドライン—」を受領した。
- (14) 日本がん治療認定医機構からの通信文「2010 年度がん治療認定医試験 合格ラインについて」を受領した。
- (15) 日本専門医制評価・認定機構からの寄贈本「日本専門医制度概報」を受領した。
- (16) 外科系学会社会保険委員会連合からの CD-R「社会保険診療報酬に関する改正要望書(概要版・詳細版)」を受領した。
- (17) 医療機能評価機構からの冊子「ニューズレター第 5 号」を受領した。
- (18) 日本専門医制評価・認定機構からの通信文「日本専門医研修施設便覧(2010-2011)の誤植についてのお詫び」を受領した。
- (19) 第 28 回日本医学会総会からの通信文「博覧会用ポスター・リーフレット配布のお願い」を受領した。
- (20) (財)川野小児医学奨学財団からの通信文「22 年度 第 11 回小児医学川野賞決定案内」を受領した。
- (21) 医歯薬出版株式会社からの寄贈本「別冊・医学のあゆみ 学会案内 2011 年 1 月版」を受領した。
- (22) 日本医療機器産業連合会からの寄贈本「医機連ニュース第 72 号」を受領した。
- (23) 難病のこども支援全国ネットワークからの通信文「第 33 こどもの難病シンポジウム後援のお願い」を受領し、後援について了承された。
- (24) 日本専門医制評価・認定機構からの寄贈本「日本専門医研修施設便覧(2010-2011) 基本領域専門医研修施設一覧 訂正版」を受領した。
- (25) 厚生労働省九州厚生局健康福祉部医事課臨床研修係から通信文「第 6 回九州ブロック 初期・後期臨床研修進路説明会」開催案内を受領した。
- (26) 日本専門医制評価・認定機構からの通信文「基本領域専門医及び subspeciality 領域専門医の関係に関する調査」を受領した。
 なお、本件については、後日開催された協議会に田口副理事長が出席し、その際の資料に基き報告がなされた。
- (27) 外保連からの寄贈本「日本の医療技術は優れている!？」を受領した。
- (28) 日本学術振興会からの通信文「平成 22 年度日本学術振興会賞受賞者の決定について」を受領した。
- (29) 臨床研究情報センターからの通信文「橋渡し研究支援推進プログラム成果報告会開催のご案内」を受領した。
- (30) 日本医療機器産業連合会からの通信文「アジア諸国学会との交流に関するアンケート調査報告書」を受領した。
- (31) 外科関連学会協議会からの通信文「新規加盟学会のお知らせ」を受領した。
- (32) 日本小児神経学会からの通信文「日常的に医療的支援を要する重い障害のある児者の地域での生活への支援についての意見送付」を受領した。
- (33) 第一生命保険株式会社からの冊子「第 63 回保健文化賞応募の推薦依頼について」を受

領した。

(34) 日本医療安全調査機構からの通信文「平成 22 年度トレーニングセミナーの開催について」を受領した。

(35) 日本学術振興会からの通信文「平成 24 年度採用分特別研究員の募集について」を受領した。

なお、本件のような依頼について、今後は理事長・国際広報委員会委員長の判断にて HP 掲載をするかどうかを決定できるものとするのが提案され、承認された。

(36) 外科系学会社会保険委員会連合からの通信文&ポスター「外保連シンポジウムのご案内」を受領した。

4. 審議事項

1) 第 48 回学術集会について（土岐会長）

土岐会長より、資料に基き準備状況の説明があり了承された。

演題応募締切りは2011年1月31日までのところを2011年2月14日正午までに延長し、指定演題を含め600を超える演題応募となり、現在審査のための振分け作業中である。

採択された全ての演題は平成23年度PSI-Japanese Issue掲載用論文の応募対象となる。

なお、内視鏡手術セミナーも開催予定であるが、現在スケジュール調整中であり、決定次第報告する。

3) 第 49 回学術集会について（上野副会長）

上野副会長より、学術集会概要資料を基に説明があり了承された。

開催時期：2012年5月14日（月）～16日（水）

開催場所：パシフィコ横浜アネックスホールおよびワークピア横浜

メインテーマ（案）：（和文） 内と外を見つめて

（英文） Look and Appreciate

4) 第 26 回秋季シンポジウムについて

大浜会長の代理として岩中理事長より以下の通り報告された。

会期：2010年11月20日（土）

会場：ワークピア横浜

会長：大浜 用克（神奈川県立こども医療センター）

参加者数は合計：325名、演題：37題であり盛会に終了した。

5) 各種委員会報告

a. 庶務委員会（小室庶務委員長）

小室庶務委員長より報告・提案があり、以下のように了承された。

(1) 会員動向について

平成23年1月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,868名（うち海外6名）、評議員304名、名誉会員53名（うち海外9名）、特別会員59名（うち海外1名）の合計2,284名である。

b. 財務会計委員会（吉澤委員長）

吉澤委員長より報告・提案があり、以下のように了承された。

(1) 平成 22 年度会計中間報告（平成 22 年 4 月～12 月）について

資料に基づき、平成 22 年度会計中間が報告された。

(2) 未収金について

現時点での未収金（著者負担金・専門医・指導医審査料登録料・年次報告書審査料）について、資料に基づき、報告された。

なお、当該未収金については、再請求することとなった（再々請求する際には、支払できない理由の申立も含めて案内する）。

(3) 旅費規程について

現在の旅費規程につき、資料を基に改定案が提案された。以下意見により、次回理事会にて最終案を報告することとなった。

- ・旅費規程改定案第 1 条→支給する対象は人ではなく、会議とすべきである
- ・旅費規程改定案第 3 条→請求可能期限を会議終了時から 1 週間と記載は厳格なものではなく、あくまで目安であって、余りにも遅い請求に対し支払わないことが目的である
- ・旅費規程改定案第 4 条→「この他、電車およびバス等の交通機関を利用した場合、実費を請求することができる」との文言は、第 4 条第 1 文「旅費は公共交通機関の実費弁済とする」に包含されるため、不要である

なお、今後の請求方法については、各会議出席者自身で書式に必要事項記入の上、領収書添付の上、事務局へ送付する。

c. 機関誌委員会（上野担当理事）

上野担当理事より報告があり、以下了承された。

(1) 第 47 巻 1 号の発刊状況

ダイレクト刷版製作に切替え、会告・お知らせを白紙(奇数頁欄外に灰色網掛)に、会告掲載を 1 頁に 3 学会/研究会を掲載した

(2) 投稿規程改定について

和文投稿規定から 付 を除き、英文投稿規定に、native check が必要であることが追加された。また、機関誌発行予定と改訂された投稿規定が HP に掲載された

(3) 機関誌に関連する経費削減について

吉澤財務会計委員長より、機関誌編集・製作の委託につき、学会誌刊行センター以外の 3 社（双文社・笹氣出版印刷・中西印刷）からの見積が報告され、経費削減の観点から委託先会社を変更する提案がされたが、機関誌委員会では、前回委員会における議論を踏まえ、機関誌の完全 on line 化は望ましくなく、発行号数減少がよいとの考えを報告しているので、改めて審議して報告したい。

今後の委託先会社の選定も含め、どのような方法で学会誌を提供していくか（全て電

子媒体&抄録のみ紙媒体／電子媒体と希望者に紙媒体／全て紙媒体)を次回理事会にて決定する。

d. 国際広報委員会 (岩中理事長)

岩中理事長より、資料に基づいて報告・提案あり、了承された。

(1) ISWについて

演題登録数が74題と過去最高数となった。

(2) WOFAPSについて

北川委員長が WOFAPS アジア代表となったことに伴い、今後 WOFAPS へ本学会から出席する人数が、日本代表とアジア代表の2名となるため、旅費の支出につき、どのようにするか、継続審議事項とする。

e. 保険診療委員会 (土岐担当理事)

土岐担当理事より、以下の報告があり了承された。

(1) 平成23年度社会保険診療報酬に関する改正要望書については、以下内容となった。
新設)

鎮静を要する検査の管理料

処置における小児加算

小児食道ブジー法 (内視鏡による)

先天性食道狭窄症根治術 (食道切除)

鏡視下腫瘍試験切除術

多発性小腸閉鎖多吻合術

小腸移植術 (生体部分小腸移植術、移植用小腸採取術、同種死体小腸移植術)

改正)

小児科療養指導料の算定疾患の拡大 (鎖肛、胆道閉鎖症等 10 疾患)

在宅成分栄養経管栄養法指導管理の栄養剤適応拡大

胃・食道内 24 時間 pH 測定の増点

(2) 外保連作成の冊子「日本の医療技術は優れている」については一般向けのものであるため、市民公開講座等で是非使用していただきたい (使用する場合は外保連事務局まで)。

f. 教育委員会 (橋本担当理事)

橋本担当理事より以下の報告・提案があり、了承された。

(1) 卒後教育セミナーおよび内視鏡手術セミナーについて

機関誌第47巻1号に開催要領を掲載し、同時にHPでも案内を開始した。

(2) 用語委員会について

今後は委員会内で用語の検討を四ヶ月おきに年三回行ない、その結果を日本医学会用語委員会に日本小児外科学会教育委員会として上申し、他科との用語統一を図る予定である。

(3) 「小児外科医の散歩道」の単行本化及び小児外科学会 HP への掲載について

雑誌『小児外科』のリレー・エッセイである「小児外科医の散歩道」を HP に掲載する案が提案された。

尚、出版元である東京医学社に確認したところ、HP での閲覧の方は純粋に学術的な内容で金銭が発生しない事もあり、編集委員会での検討事項にした上で協力可能とのことである。

g. 悪性腫瘍委員会（前田担当理事）

前田担当理事より、以下の報告があり了承された。

- (1) 2009 年度新規症例登録について、機関誌 2011 年 1 号に掲載される予定である。
- (2) 登録用紙の改訂の原案（電子化）につき、委員会の合意が確認された。当該改訂の手続きについては、追って理事会に報告することとなった。
- (3) 悪性腫瘍登録の神経芽腫のデータを含む檜山班データベースを用いた論文投稿の可否について、メール審議の結果、承認された。

h. 学術・先進医療検討委員会（濱田担当理事）

濱田担当理事より報告・提案があり、以下のように了承された。

(1) ビデオライブラリー（デジタル化）について

株式会社マイメドと業務委託に関する契約（サーバー使用料 年間 300,000 円）を準備中である。

ビデオ内容の検査体制については、学術・先進医療検討委員会からの動画配信と教育委員会からの動画配信は目的・性質が異なることにより、各委員会の方針に従って、それぞれ整えることとなった。

なお、学術・先進医療検討委員会からの動画配信は会員ページに設置することとし、配信案内は 2011 年度会費請求書に同封することとなった。

教育委員会からの動画配信については学生用の ID・PW を各大学の研修センターへ周知することとなった。

- (2) 文部科学省・日本学術振興科学研究費申請及び採択状況調査については、現在、回収率が悪いとため、追加回収中である。
- (3) 会員対象のアンケート調査依頼
 - ①小児好酸球性食道炎に関するアンケート依頼が、群馬県立小児医療センターの鈴木則夫先生、山田佳之先生より 11 月 15 日付であり、12 月 7 日に承認した。
 - ②『低出生体重児に対する新生児期手術に関するアンケート』の依頼が、大阪府立母子保健総合医療センターの窪田昭男先生より 1 月 4 日付であり、1 月 22 日に承認した。

i. 倫理・安全管理委員会（菰澤担当理事）

菰澤担当理事より、報告・提案があり以下のように了承された。

- (1) 懲戒規定に関する定款変更に関して、新旧対照表（最終案）が提出され、了承され

た。次回評議員会にて当該最終案の承認を得ていくこととする。

(2) 医療安全全国共同行動 2011 への参加継続について、引続き参加していくことで了承された。

j. 小児救急検討委員会（上野担当理事）

上野担当理事より、報告があり以下のように了承された。

(1) 専門医取得のための小児救急研修に関する小児救急検討委員会からの提言(案)が報告された。

(2) 「日本小児外科学会専門医取得のための小児救急研修に関する意識調査」についてのアンケート結果が報告され、了承された。

(3) 平成 23 年度 小児救急連絡協議会については、上野担当理事が本会を代表して出席することとした。

k. データベース委員会（前田担当理事）

前田担当理事より、NCD が 1 月から稼動開始となり、利用者登録の進捗状況について報告され了承された。

今後、この NCD のデータをもとに本学会専門医制度の新システム構築を進めていく事となるため、データの取り扱い（出力方法）についての仕様書を 2011 年 3 月末までに NCD へ提出する必要がある、前田理事より専門医制度委員会に当該仕様書作成を依頼することが提案され、承認された。

L. 50 周年記念事業準備委員会（田口副理事長・上野理事）

記念式典のプログラムにつき、田口副理事長よりたたき台が提案され、継続審議事項となった。

また、50 周年記念誌の発行について、上野理事より、発行部会委員候補が提案され、継続審議事項となった。

5) 会員情報管理システムについて（小室庶務委員長、NTT-PC）

NTT-PC 副島氏より、資料に基き、会員情報管理統合システムの機能概要が説明され、了承された。

なお、本件に関する初期費用見積につき、内訳明細が不明であるため、NTT-PC より、次回理事会までに明細を提出することとなった。

6) 総合調整委員会（田口副理事長）

田口副理事長より、報告があり以下のように了承された。

(1) 小児外科専門医を有するものの中で、外科専門医を有しておらず、日本外科学会認定医のみ有している人については、平成 22 年～24 年の間に日本外科学会認定登録医に変更する必要がある、その申請に必要な日本外科学会学術集会への出席について、該当者に通知する必要がある。

また、小児外科専門医を有するものの中で、外科専門医および日本外科学会認定

医の双方を有していない人については、実態を追加調査し、該当者については、日本外科学会認定登録医に登録を認めてもらうよう、日本外科学会へ申し入れることとなった。

- (2) 日本小児外科学会として「日本小児外科学会認定登録医」を設置することについて提案があった。これは、小児外科専門医を出産や育児や留学など諸事情で小児外科の手術経験数不足のため更新できない場合に「認定登録医」として更新が可能であり、手術条件をみたせば「小児外科専門医」に復帰できる制度である。
- (3) 指導医の更新条件は専門医または日本小児外科学会認定登録医を更新できる条件を満たすことが必要となり、研修経験や臨床経験については継続審議事項とする。更新できない指導医は一定条件をみたせば（たとえば一回更新歴あり、10年以上指導医など）名誉指導医として称号付与し終身制とする案については次回理事会にて審議することとする。

6) 選挙管理委員会（小室委員長）

資料に基き、第20回評議員選挙につき、2011年2月8日付で、立候補者名簿（333名）・確定選挙人名簿（1923名）・投票用紙等を発送したことが報告され、了承された。なお、選挙開票は3月10日（木）である。

7) 名誉会員・特別会員の推戴について

各種資料を参考に、候補者につき検討を行った。

以上

理事長 _____

理事 _____

理事 _____